



岐阜市立岐阜東幼稚園  
令和3年2月26日  
こあら組だより No.35

### たいよう組さんの優しさでやりたいことができたよ！

私は、雪の降った日、雪遊びの準備を手伝いながら、「何して遊ぶ？」と子供たちに聞きました。すると、「そり滑り、ゆきだるま、雪合戦」とそれぞれのしたい遊びが出てきました。AさんとBさんは、土山でそり滑りをしている子の傍に行き、「ぼくもやりたい。」と話しました。すると、年長の子が、「いいよ。いいよ。〇〇くん、前に乗りたい？後ろに乗りたい？」ととても親切に聞いてくれたのです。最初は怖いので、後ろに乗せてもらい、スピードに慣れてきてから、前に座らせてもらっていました。AさんとCさんは、「きゃー」と歓声を上げながら雪の坂を滑って行きました。Cさんは、Aさんが楽しく遊べるように良く考えてくれているのです。「乗って。」と言いながら力を入れてそりを押さえ、まずAさんを座らせ、それから自分も座っているのです。しばらくすると、「1人で乗ってみる？」と尋ねてうなずいたので、Aさんが1人で乗っているそりを後ろから押してくれていました。何度かその滑り方をした後、Aさんは、1人でそり滑りができるようになりました。Aさんは、「Cさんとそり滑りして、楽しかった。」と充実した笑顔でした。互いに名前を覚えていて、こんなに親切に遊ばせてもらってうれしかったことは、今後年下の子に関わるときの財産となると思います。

### 考えたり、声を掛け合ったりする姿

前日の雪や朝の雨が残っている園庭でのこと。滑り台をしようとする子がいたので、私は、タオルで滑り台の座面を拭きました。待っていた2人が滑り台に登りました。滑るのかなと思っているとDさんが、「あそこ、危ない。除けよう。」と滑り台の下の氷に気付いたのです。Eさんも「本当、危ないね。除けよう。」と答えました。2人で階段を降りてきて、砂場のスコップで氷を除かしてから滑り台を滑って遊んだのです。まだ、雪や氷が残っている園庭は、気をつけたほうがいいですね。自分の目で危なくないか見て考え、また、自分たちで遊びの準備ができる姿がたくましいなと思いました。

保健指導で、良い姿勢について教えてもらった子供たち。給食を食べ始めた頃に、「お皿を持つといいよ。」と言いながら、器を持ってご飯や汁物を食べる子が出てきました。その言葉を聞いて、そうだったと器を持つ子が増えたのです。食事、描画、はさみを使うときの左手の使い方がとても大事だと普段から思っている私は、「いいことに気が付いたね。」と大いにほめています。

コロナ対策の一つとして、『室内はマスクをつける』とルールがあります。しかし、朝の手洗いうがいや歯磨きの後、自分のしたい遊びを始めるので、マスクをつけるのを忘れていたことがあるのです。遊び始めて、ふと気付き、マスクを取りに行きながら、友達に「〇〇ちゃん、お部屋の中はマスクだよ。」と声を掛けています。言われた子も「あっ、そうだった。」とマスクとつけに行きます。教師が言わなくても、自分で考えたり、声を掛け合ったりする姿が多くなっていることに1年の成長を感じています。